

安全データシート(SDS)

作成 2013年11月14日
改訂 2017年 4月10日

1. 製品及び会社情報

製品識別

製品名 LAGERMEISTER WHS 2002

物質又は混合物の推奨用途及び推奨できない用途

推奨使用用途 潤滑グリース
推奨できない使用用途 推奨使用用途以外での使用

安全データシートの供給業者の詳細

製造/販売業者 FUCHS LUBRITECH GMBH
住所 Werner-Heisenberg-Straße 1, 67661 Kaiserslautern / Germany
電話番号 +49 (0) 6301 3206 - 0
ファックス番号 +49 (0) 6301 3206 - 940

お問い合わせ先

電話番号 +49 (0) 6301 3206 - 0
ファックス番号 +49 (0) 6301 3206 - 940
電子メール(担当者) reach@fuchs-lubritech.de

緊急連絡先 +49 (0) 6301 3206-0

2. 危険有害性の要約

物質又は混合物の分類

本製品は、regulation (EU) 1272/2008 (CLP)により、危険物として分類/ラベル付けする必要があります。

Regulation (EC) No 1272/2008 as amended による分類

健康有害性
眼への重篤な損傷/眼刺激性 Category 2 H319: 強い眼刺激

危険性の概要

物理化学的危険性 データ無し

健康有害性

吸入すると、眠気やめまいのおそれ
飲み込むと、本製品が肺に吸入されて化学性肺炎を引き起こすおそれ
適切に取り扱って下さい。

ラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H319: 強い眼刺激

注意書き
予防

P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
P264: 使用後は十分に手を洗うこと

対応

P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分注意深く洗うこと
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
外して、洗浄を続けること

P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること

その他の危険性

通常の注意事項(項目 7)と保護具(項目 8)が適切に適応されている場合、鉱油製品や化学製品の取り扱いによる、特別な危険性は知られていません。製品を、環境中に放出しないで下さい

3. 組成、成分情報

混合物

概要

下記リストに記載の成分と有害性の無い物質の混合物

物質名	EINECS	含有量 (%)	REACH Registration No.	備考
オレイン酸誘導体	203-749-3	1.0 ~ < 3.0	01-2119488991-20	

分類

物質名	EINECS	分類
オレイン酸誘導体	203-749-3	CLP Eye Dam. 1;H318, Aquatic Acute 1;H400, Acute Tox. 4;H332, Skin Irrit. 2;H315

CLP: Regulation No. 1272/2008.

その他の成分情報

物質名	EINECS	wt%	備考
鉱物油	不明	70 ~ 80	安衛法: 通知/表示対象物質

4. 応急措置

一般情報

衣類に付着した場合は速やかに着替えて下さい。
衣類を乾燥させる場合は製品を完全に除去して下さい。

吸入した場合

新鮮な空気を確保して下さい。
症状が現われた場合は医師の診断を受けて下さい。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、石鹼と水で洗い流して下さい。
皮膚の炎症が続く場合は医師の診断を受けて下さい。

眼に入った場合

眼に入った場合は、多量の水で注意深く洗浄して下さい。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、洗浄して下さい。
症状が続く場合は、医師の手当てを受けて下さい。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡して下さい。
口をすすいで下さい。

医師への情報

強い眼刺激
症状が現われた場合は、適切に治療して下さい。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

泡消火剤, 粉末消火剤, 二酸化炭素消火剤, 霧状の水
大規模火災の場合は、耐アルコール泡消火剤, 界面活性剤を含む水の噴霧が有効です。

不適切な消火剤

水, 水の棒状噴射

製品から生じる特別な危険

有機物の火災ガスは常に呼吸毒として分類する必要があります。

消防士への情報

消防士への保護具

自給式空気呼吸器を使用して下さい。
消火活動に適した保護具を着用して下さい。

追加情報

火災の危険にさらされた容器は霧状の水で冷却して下さい。
火災の残渣物/汚染された消火用水は、法規制に従って廃棄して下さい。

6. 漏出の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置

一般情報

十分な換気を確保して下さい。
着火源を遠ざけて下さい。
皮膚や眼への接触を避けて下さい。
ガス/蒸気/エアロゾル/の吸入を避けて下さい。
適切な保護具を着用して下さい。
製品の漏れやこぼれによる滑り転倒の危険に注意して下さい。
危険性が無い場合は、油障壁等で漏洩による流出を塞ぎ止めて下さい。

環境に対する注意事項

排水, 地下水, 河川, 土壌, 地面等に流出させないで下さい。
漏洩時は、関連機関に報告して下さい。

清掃除去方法

回収/廃棄に適した容器に回収して下さい。
吸着材(例: 砂, おがくず, バインダー, 珪藻土)で残留物を回収して下さい。
使用済みの吸着物質は、各地域の法規制に従って廃棄して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全に取扱うための情報

化学製品を取り扱う際の一般的な予防措置を行って下さい。
作業場は十分な換気を確保して下さい。

一般的な保護対策

眼や皮膚との接触を避けて下さい。
ガス/蒸気/エアロゾルを吸入しないで下さい。

適切な衛生対策

化学製品を取り扱う際の一般的な産業衛生規則を遵守して下さい。
作業場での飲食, 喫煙, 薬の服用は禁止して下さい。
製品で汚染された布はズボンのポケットに入れたままにしないで下さい。
汚れた衣服は直ちに交換して下さい。
飲食物を作業場に保管しないで下さい。
休憩時や作業後は手や皮膚を洗浄して下さい。
皮膚の保護クリームを使用して下さい。

火災や爆発への予防対策	製品は可燃性です。 一般的な火災予防規則に注意を払って下さい。
混触危険物質を含む保管方法 保管所と容器への規定	土壌への浸透を予防して下さい。 階段や通路に保管しないで下さい。 製品容器に密閉して保管して下さい。
混触危険物質	酸化剤, 強酸化剤, 強塩基, 自己可燃物
保管に関する追加情報	食糧と同じ場所に保管しないで下さい。 製品の容器に密閉して保管して下さい。 換気の良い冷暗所に保管して下さい。 開封や取扱には注意して下さい。 熱や直射日光から避けて保管して下さい。 乾燥した場所に保管して下さい。
8. 暴露防止及び保護措置 制御パラメーター 職業暴露限界値	職業暴露限界値を有する成分は含有していません。
暴露制御 一般情報	鉱物油製品や化学製品の一般的な予防措置を遵守して下さい。 休憩前や作業後は、手を洗って下さい。 適切な保護具を着用して下さい。 保護具は、保護具メーカーに相談して選定して下さい。 使用した作業着/汚染された作業服は、クリーニング/洗濯して下さい。 汚染された靴は、廃棄して下さい。
呼吸器の保護	必要に応じて使用して下さい。
手の保護	保護手袋 製品を使用する前に手袋の耐性を必ず確認して下さい。 経時劣化による手袋の耐久性は別途確認して下さい。 長期間及び繰り返し皮膚に接触する場合は PVC の手袋を着用して下さい。
眼の保護	保護眼鏡
その他の保護	一般的な化学工業用の作業服 保護具は、保護具メーカーと協議して選定して下さい。 皮膚を保護するために保護クリームを使用して下さい。
熱による危険性	データ無し
適切な技術管理	十分な換気を確保するために、必要に応じて換気装置を設置して下さい。 暴露限界値が不明な場合、可能な限り暴露レベルを低い状態に維持して下さい。 エアロゾルの吸入を避けて下さい。

9. 物理的及び化学的性質

物理化学的特性に関する情報

	値	試験方法	備考
物理的状态	固体		
形状	ペースト		
色相	白色		
臭い	特有		
臭いの閾値	データ無し		
pH	適用外		
沸点	317 °C		
融点/凝固点	データ無し		
引火点	> 200 °C		
蒸発速度	データ無し		
可燃性 (固体, ガス)	データ無し		
発火温度	データ無し		
自己発火温度	データ無し		
爆発限界 (上限)	データ無し		
爆発限界 (下限)	データ無し		
蒸気圧 20°C	データ無し		
蒸気密度	データ無し		
密度 15°C	0.90 g/cm ³		
水への溶解性	難溶		
その他への溶解性	データ無し		
分配係数 n-オクタン/水 (log P O/W)	データ無し		
発火温度	データ無し		
分解温度	データ無し		
フロータイム	データ無し		
酸化性	データ無し		
爆発性	データ無し		
その他の情報	データ無し		

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の状態では安定しています。
化学安定性	通常の状態では安定しています。
有害な反応の可能性	通常の状態では安定しています。
避けるべき条件	熱, 裸火, 着火源, 帯電物, 汚染
混触危険物質 避けるべき物質	酸化剤, 強酸化剤, 強塩基, 自己可燃物
危険な分解生成物	熱分解, 燃焼時に一酸化炭素等の有毒なガス/蒸気が発生する可能性があります。

11. 有害性情報

曝露経路の情報

吸入	データ無し
飲み込み	データ無し
皮膚への接触	データ無し
眼への接触	眼への刺激性のおそれ

毒性情報

急性毒性

経口

製品 利用可能な急性毒性情報より、区分外

特定物質

オレイン酸誘導体 **LD₅₀ (ラット): 9200 mg/kg**

経皮

製品 利用可能な急性毒性情報より、区分外

吸入

製品 **ATEmix: 68.5 mg/L** (ダスト, ミスト, フェーム)

特定物質

オレイン酸誘導体 **LC₅₀ (ラット, 4 h): 137 mg/L** (ダスト, ミスト, フェーム)

皮膚腐食性/刺激性

製品 利用可能な情報では、分類できません。

特定物質

オレイン酸誘導体 **OCED 404 (ラビット): 刺激性**

重篤な眼の損傷/刺激性

製品 強い眼刺激

呼吸器/皮膚感作性

製品 利用可能な情報では、分類できません。

特定物質

オレイン酸誘導体 感作性無し (モルモット) **OECD 406**

生殖細胞変異原性

製品 利用可能な情報では、分類できません。

発がん性

製品 利用可能な情報では、分類できません。

生殖毒性

製品 利用可能な情報では、分類できません。

特定標的臓器毒性－単会/反復暴露

製品 利用可能な情報では、分類できません。

吸引性呼吸器有害性

製品 利用可能な情報では、分類できません。

12. 環境影響情報

毒性

急性毒性

製品

利用可能な情報では、分類できません。

魚

特定物質

オレイン酸誘導体

LC₅₀ (魚, 96 h): 3.2 ~ 4.6 mg/L

水生無脊椎動物

特定物質

オレイン酸誘導体

EC₅₀ (ミジンコ, 48 h): 0.53 mg/L

慢性毒性

製品

利用可能な情報では、分類できません。

水生植物に対する毒性

製品

データ無し

特定物質

オレイン酸誘導体

EC₅₀ (藻類, 72 h): 5.1 mg/L

残留性と分解性

生分解性

製品

混合物は適用外

特定物質

オレイン酸誘導体

85 % (28 d, OECD 301B)

生体蓄積性

製品

混合物は適用外

土壌中の移動性

製品

混合物は適用外

PBT 及び vPvB の評価結果

本製品は PBT 及び vPvB の基準を満たす物質を含有していません。

その他の情報

Water Hazard Class

データ無し

WGK 1: slightly water-endangering

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品の推奨

各地域の法規制に従って廃棄して下さい。

容器の推奨

完全に空にした容器は再利用できる場合があります。

一般情報

最終使用者/所有者が各地域の法規制に従って適切に廃棄して下さい。
排水, 河川, 土壌等に廃棄しないで下さい。

14. 輸送上の注意

ADR / RID

UN 番号	-
UN 商品名	-
輸送危険分類	
クラス	Non-dangerous goods
ラベル	-
Hazard No. (ADR)	-
Tunnel restriction code	-
容器等級	-
環境有害性	-
使用者への注意事項	-

IMDG

UN 番号	-
UN 商品名	-
輸送危険分類	
クラス	Non-dangerous goods
ラベル	-
EmS No.	-
容器等級	-
環境有害性	-
使用者への注意事項	-

IATA

UN 番号	-
UN 商品名	-
輸送危険分類	
クラス	Non-dangerous goods
ラベル	-
容器等級	-
環境有害性	-
使用者への注意事項	-

Annex II of MARPOL73/78 及び the IBC Code によるバルク輸送: 適用外

15. 適用法令

物質または混合物のための安全、健康、環境の特別な法律/規制

EU Regulations

Regulation (EC) No. 2037/2000 Substances that deplete the ozone layer: 無し

Regulation (EC) No. 850/2004 on persistent organic pollutants: 無し

日本の法規制

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
PRTR 法	非該当
労働安全衛生法 名称等を通知/表示すべき危険物及び有害物	鉱物油 (70 ~ 80%)

16. その他の情報

訓練方法	この SDS を参照して下さい。
使用と制限の推奨	国内, 国外に関する化学物質の法規制を遵守して下さい。 警告情報を遵守し指示に従って使用して下さい。
追加情報	カタログを参照して下さい。

項目3において記載された H-statements の表現(製品の分類ではない)

H315	皮膚刺激
H318	重篤な眼の損傷
H319	強い眼刺激
H332	吸入すると有害
H400	水生生物に強い毒性

記載内容の問い合わせ先

会社名	フックスジャパン株式会社
住 所	三重県伊賀市大内字三郎谷408-3
担当部門	技術部
電話番号	0595-20-1114
ファックス番号	0595-20-1056

改訂履歴

- 作成 2013年11月14日(翻訳)
- 作成 2017年 4月10日(原文改訂による変更)

記載内容の取扱い

この SDS にある情報は、現在知りうる知識を基に、安全の観点から当該製品について述べたものです。全ての資料や文献を調査したわけではないため情報の漏れや、新しい知見の発見や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

重要な決定事項にご利用される場合は、事前に試験等によって確かめられることをお勧めします。

含有量、物理化学的性質、製品特性等の情報は保証するものではありません。

注意事項等は、通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いについては別途確認して下さい。

現場責任者は製品の取扱いについて、十分に現場作業の方々に教育を行って下さい。

本 SDS は、輸入先の英文 SDS (LAGERMEISTER WHS 2002: Revision Date: 12.10.2016 Version: 1.1) を基に作成しています。